

環 境 報 告 書

Environmental Report 2016



北上製紙株式会社

目次

1	北上製紙環境憲章	P2
2	環境負荷排出状況	P3
3	法規制の順守状況	P4～5
4	省エネルギーとCO ₂ 排出抑制	P6
5	廃棄物の発生と処理	P7
6	地域貢献活動	P8～9

北上製紙株式会社 環境憲章

事業活動と人間社会が調和し、古紙資源を循環させる企業として『環境保全に積極的に取り組むこと』を目的とし、『北上製紙環境憲章』を制定する。

1 基本理念

北上製紙は自然と調和する持続可能な企業活動を基本とし、地域とともに循環型社会の形成に努め、環境保護を目指した活動に取り組みます。

2 基本方針

- 1) 当社の企業活動、製品及びサービスにおいて、古紙利用、省資源、廃棄物の削減を推進する。
- 2) 全社員による環境保全の意識向上と当社企業活動が地域との共存共栄を資するように努め、環境マネジメントシステムのスパイラルアップを図り、かつ汚染の防止に努める。
- 3) 適用される環境関連法規制及びその他要求事項を順守する。
- 4) 環境情報の開示を行い、社内外とのコミュニケーションを図る。
- 5) 環境方針を周知徹底する。

3 行動指針

- 1) 古紙利用の促進を図る。
- 2) 環境負荷の抑制及び廃棄物の削減に努める。
- 3) 省エネルギーの推進とCO₂の排出削減及び未利用エネルギーの有効利用に努める。
- 4) 環境カードを、全社員及び当社のために働く人々に配布し、広報活動と必要な教育・訓練を実施する。
- 5) 環境影響を配慮した、資材の購入並びに製造技術の研究と開発に努める。
- 6) 環境影響を考慮した、設備の設計、保全に努める。

2016年6月16日
北上製紙株式会社
代表取締役社長
内田 善朗

2 環境負荷排出状況

北上製紙は、周辺が一般住宅地となっているため、排水、大気、騒音、臭気等の面で細心の注意を払って操業しております。当社の排水と大気関係の負荷の状況を図-1、図-2、図-3に示しました。

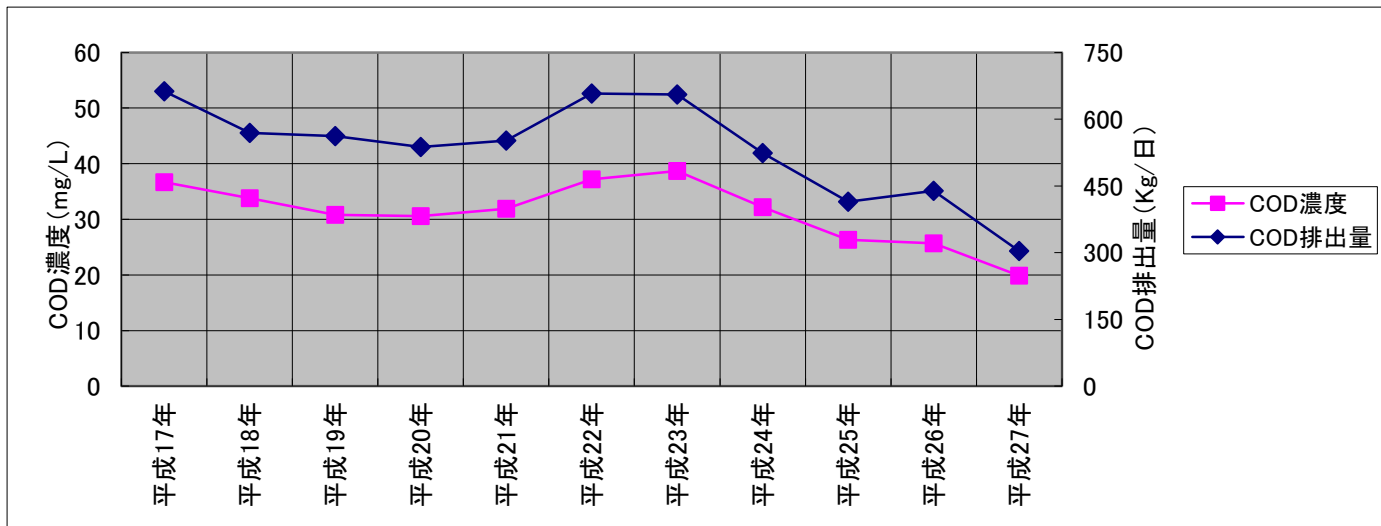


図-1 COD排出状況

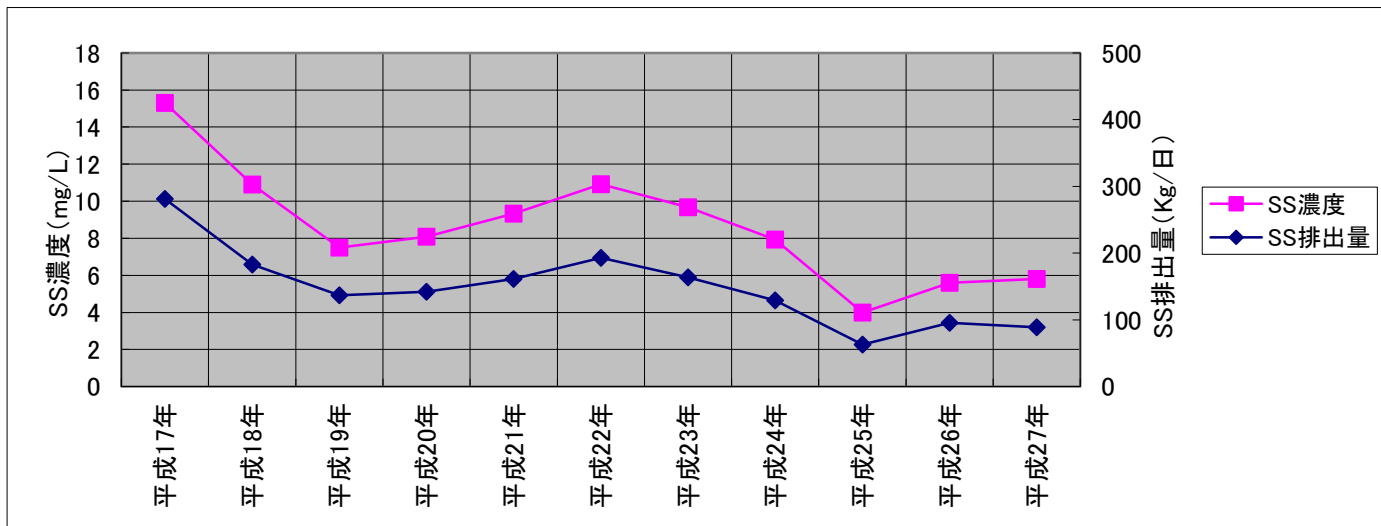


図-2 SS排出状況

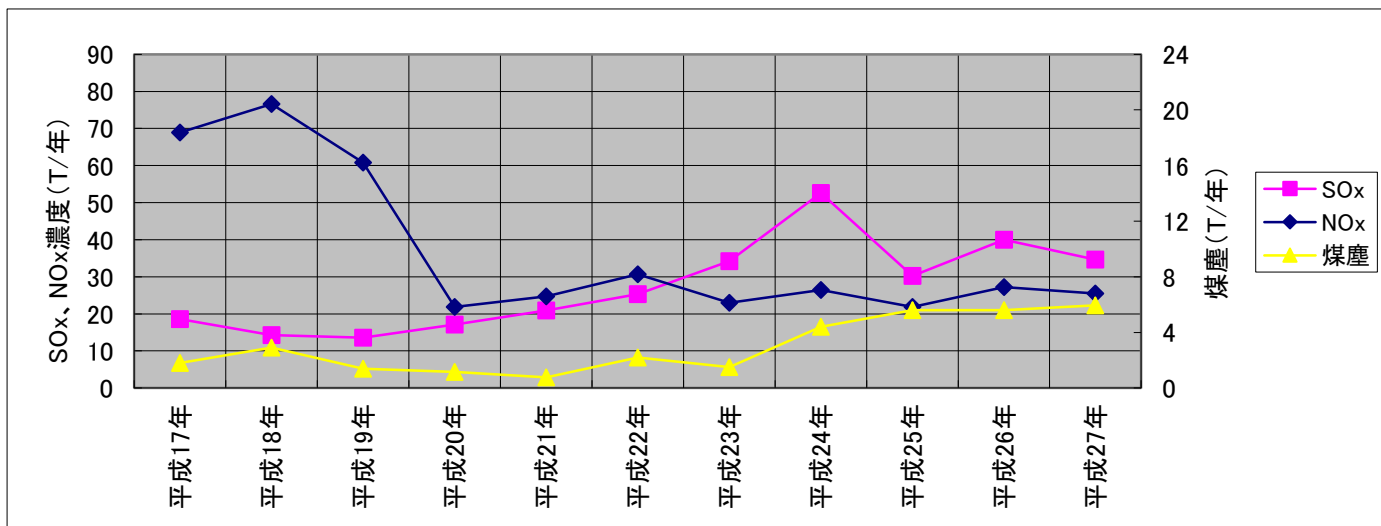


図-3 大気関係排出状況

3 法規制の順守状況

北上製紙の水質の法規制値と測定値を以下に表で示します。

平成27年度実績について、BOD、SS共に一関市の協定値、および国規制値よりも低い値を示しました。

今後も、吸川の水質向上を目的として、排水水質の維持管理に努めていきます。

水質関係					
項目	単位	国規制値	一関協定値	平成27年度 実績	判定
BOD(最大値)	mg/L	160	40	19	○
BOD(平均値)		120		6	○
SS(最大値)	mg/L	200	60	25	○
SS(平均値)		150		6	○
pH	-	5.8～8.6	6.0～8.0	6.2～6.7	○

その他の環境測定項目である、大気、騒音、焼却炉のダイオキシン関係の法規制値と測定値を表で示します。

その他については法規制値、協定値を順守しています。

大気関係						
項目		単位	国規制値	一関協定値	平成27年度実績	判定
No.1ボイラー	煤塵濃度	$\text{g}/\text{m}^3_{\text{N}}$	0.25	0.1以下	最大0.02	○
	SO _x	$\text{m}^3_{\text{N}}/\text{H}$	56	14.3以下	最大1.9	○
	NO _x	ppm	230	150以下	最大84	○
No.2ボイラー	煤塵濃度	$\text{g}/\text{m}^3_{\text{N}}$	0.30	0.3	最大0.16	○
	SO _x	$\text{m}^3_{\text{N}}/\text{H}$	3.5	1	最大0.26	○
	NO _x	ppm	350	250	最大200	○

騒音関係				
敷地境界測定地点	単位	規制値(深夜)	平成27年度	判定
ボイラー西側市道	dB	55	47~49	○
セディフロード裏	dB	55	47~52	○
工場北側国道	dB	55	52~55	○
工場西側市道	dB	55	55	○

産業廃棄物最終処分場浸透水				
	単位	規制値	実績	判定
pH	-	-	6.6~6.8	参考値
BOD	mg/L	20以下	3以下	○

廃棄物焼却炉ダイオキシン類分析結果								
測定年度	排ガス($\text{ng-TEQ}/\text{m}^3$)			焼却灰($\text{ng-TEQ}/\text{g}$)		煤塵($\text{ng-TEQ}/\text{g}$)		判定
	規制値	協定値	測定値	規制値	測定値	規制値	測定値	
平成25年	10	5	0.6	3	2.5	3	0.2	○
平成26年			0.5		0.46		2.1	○
平成27年			0.037		0.58		0.001	○

4 省エネルギーとCO₂排出抑制

北上製紙では省エネルギー及びCO₂排出抑制に取り組んでいます。省エネルギーの指標は、購入電力を等価エネルギーの重油に換算し、自家用発電の重油との合計量を生産高で割った数値(重油換算エネルギー原単位)で表しています。

北上製紙では平成2年を基準年として、平成27年まで「エネルギー原単位を15%削減する」「CO₂排出量を20%削減する」という目標を掲げています。昨年度の実績は年度目標である「エネルギー原単位 217L/製品t」を達成しました。一方、「CO₂排出量0.478t/製品t」は目標未達でした。これは、購入電力のCO₂排出係数が変更されたことによる影響です。ひきつづき、北上製紙では環境負荷低減を目的した取組みを、継続して実施します。

なお、平成28年2月にLPGボイラーを新設して、従来の重油ボイラーを停機いたしました。平成28年度はCO₂排出量の削減が見込まれています。

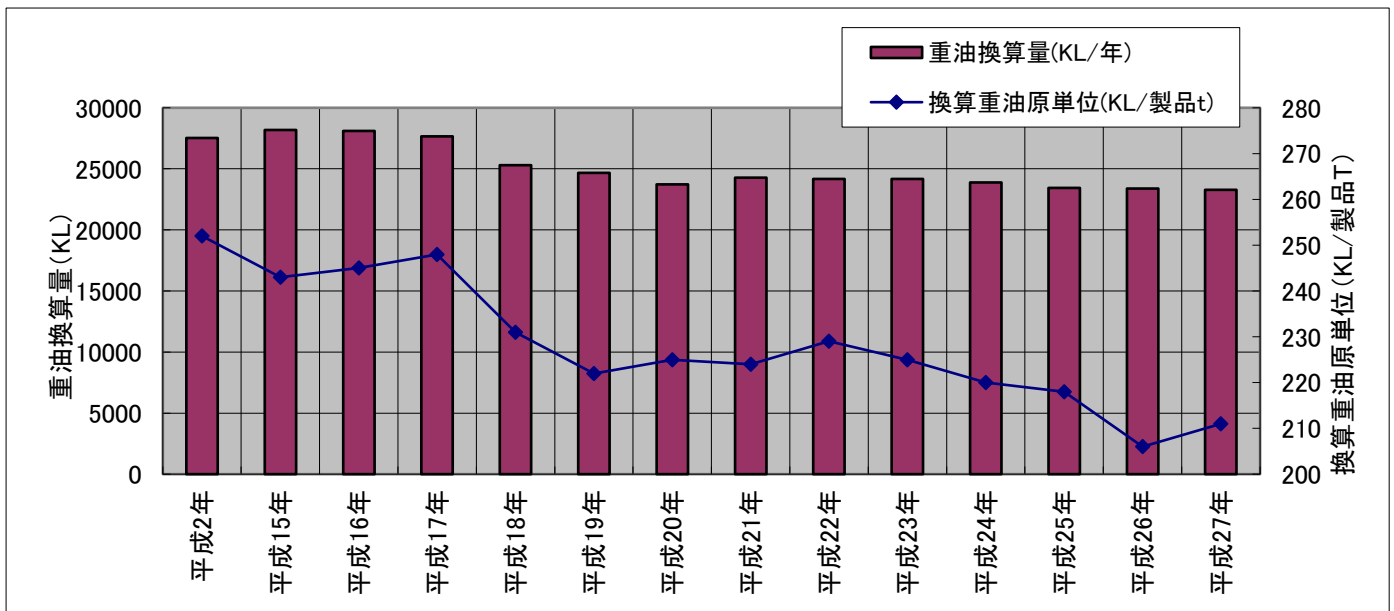


図-4 省エネルギーの取り組み状況

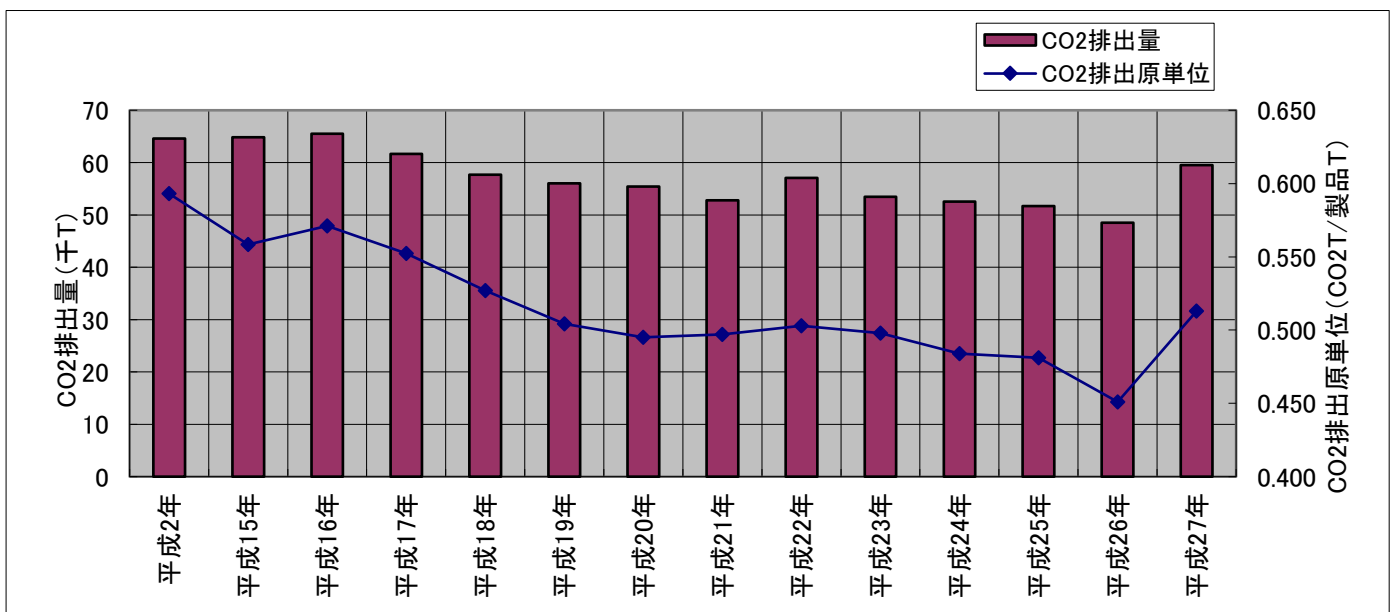


図-5 CO₂排出状況

5 廃棄物の発生と処理

廃棄物対策の基本は3R(Reduce:発生抑制、Reuse:再利用、Recycle:再資源化)です。北上製紙の平成27年度の廃棄物発生量は1872BDT、最終処分量は9BDT、有効利用量は1863BDTでした。廃棄物発生量等の推移は図-6に示した通りです。(BDT:水分を含まない、絶乾重量トン)

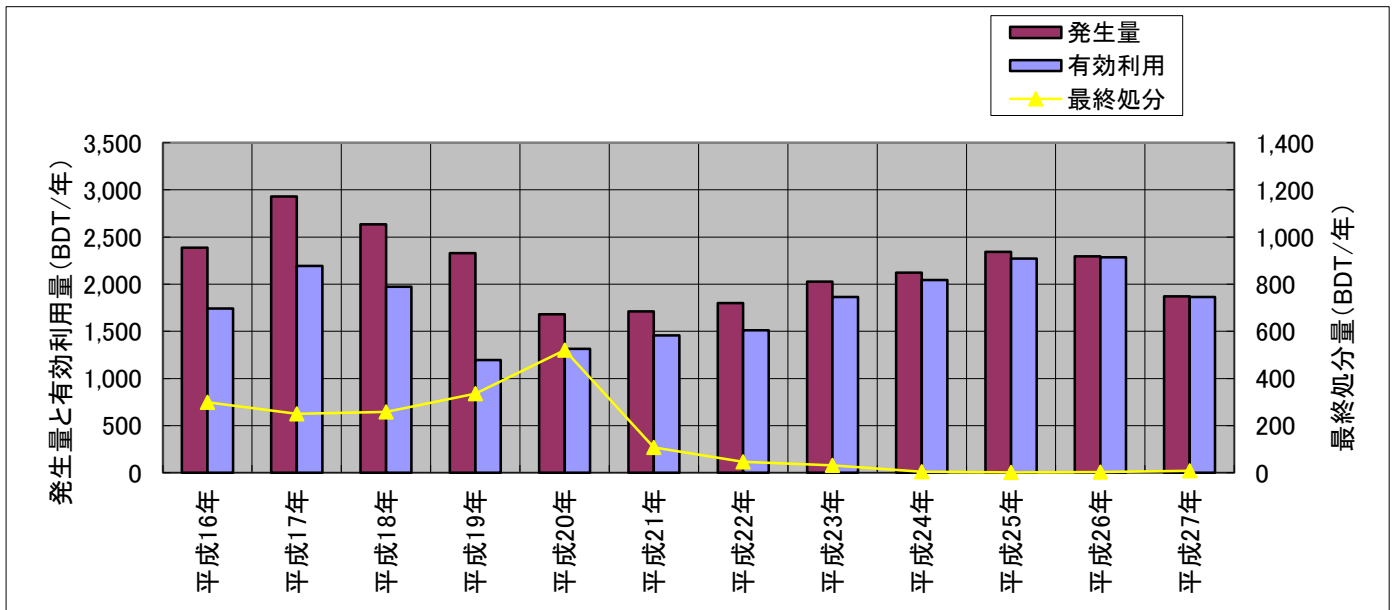


図-6 廃棄物の発生と処理状況

北上製紙では埋立処理される最終処分廃棄物削減に取り組んでいます。生産高あたりの最終廃棄物比率の推移を図-7に示しました。廃棄物処理の多角化及び処理費用削減のため、平成20年7月に固形燃料化設備を設置し、平成23年9月に2号機を増設し、廃棄物の固形燃料化を行いました。

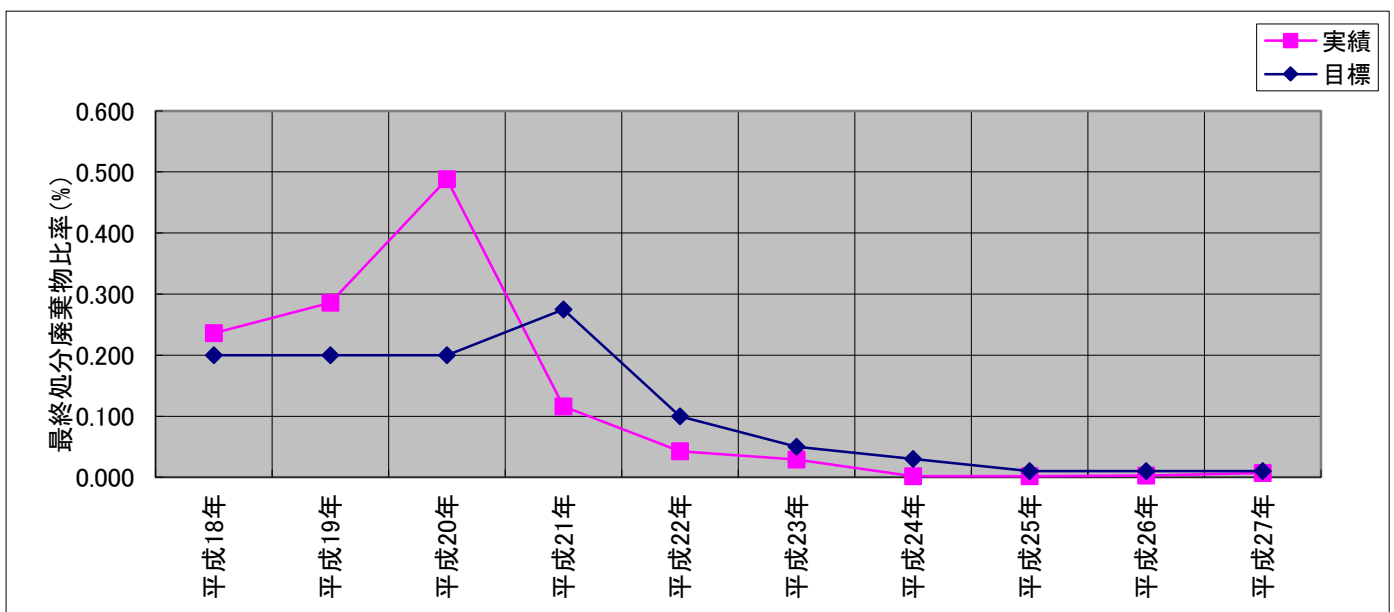


図-7. 最終処分廃棄物比率の推移

6 地域貢献活動

<紙源のカゴの設置>

平成12年に、小規模事業所などを対象としたリサイクル古紙の回収ボックスとして、『紙源のカゴ』を北上製紙構内に設置しました。搬入古紙は、新聞紙・段ボール・雑誌・クラフト袋・牛乳パック等で、自由に持ち込み出来ます。

「紙源のカゴ」のコーナーには紙紐を用意しており、自由に持ち帰ることが出来ます。

また、毎年、社会福祉協議会へ寄付し、地元へ還元しています。



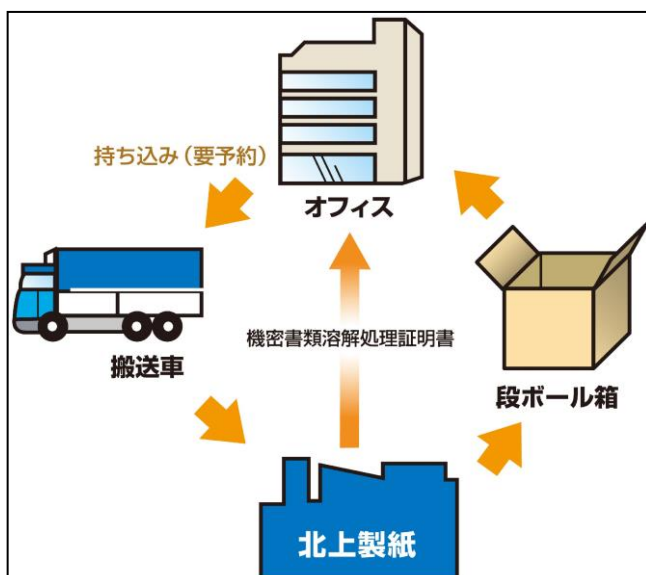
<機密書類リサイクルシステム>

平成9年に、機密書類の再資源化推進のため、北上製紙では『機密書類リサイクルシステム』を構築しました。これは、一般企業の機密書類を、専用ボックス(段ボール箱)へ入れて回収し、封印したままりサイクル処理するシステムです。概要を紹介します。

- ① 機密書類の処理を委託する場合、専用ボックスを購入して頂きます。
- ② 機密書類を段ボール箱へ入れ、企業側で封印後、北上製紙へ持ち込みます。
- ③ 北上製紙では、ボックス個数を確認後、写真のように直接パルパーへ投入します。このため、段ボールの中身が人目に触れることはありません。
- ④ 投入後、機密書類溶解処理証明書を発行します。

※ パルパーへの投入を確認するための監視所も用意しております。

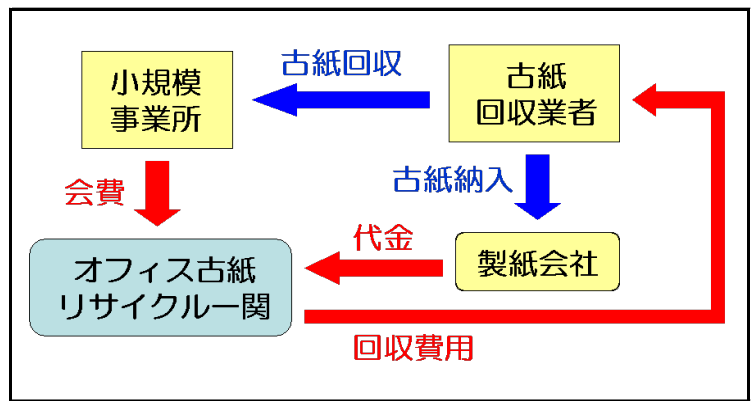
※ 操業の都合で希望日にパルパーへ投入できない場合は、保管庫で厳重に保管いたします。



<オフィス古紙リサイクルー関>

平成12年に、古紙の分別回収・有効利用を目的として、北上製紙が窓口となり『オフィス古紙リサイクルー関』を発足しました。システムの概要を紹介します。

- ① 事業所・古紙回収業者・製紙会社（北上製紙及び上山製紙株式会社）それぞれが、『オフィス古紙リサイクルー関』へ会員登録する。
- ② 事業所は会費を支払い、古紙回収業者は、会員事業所から古紙を回収する。
- ③ 製紙会社は回収された古紙を購入し、購入代金を支払う。
- ④ 会費及び古紙購入代金から、古紙回収業者へ支払う回収費用を捻出する。



<北上製紙のリサイクル製品>

古紙100%で作った当社製品『白い紙ひも』は、家庭から出る古紙の梱包用に使用されます。白い紙ひもは、古紙と一緒にパルパーで溶解することが可能であり、製紙会社での古紙パルプからの異物除去作業が大幅に軽減されます。また白い紙ひもの原料はビニール紐と異なり、石油資源に依存していないため、CO₂排出削減に大幅に貢献しています。

新聞紙の梱包に便利な当社製品『リサイクルストッカー』も用意しています。



平成11年 ジャパンパッケージングコンペティション
通産大臣賞受賞

<見学者の受け入れ>

市民の見学を受け入れ、当社のリサイクルシステムを紹介し、省エネルギー、資源循環の大切さをPRしています。

<吸川の清掃>

北上製紙は工場排水を吸川へ放流しています。1回／月程度の清掃を行い、吸川の環境保全に努めています。

<ISO14001認証取得>

北上製紙は環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を取得しています。会社をあげて持続的な環境負荷低減活動に取り組んでいます。

<地域環境団体への所属>

北上製紙は下記に挙げた地域環境団体に所属し、地域の方々と一緒に環境保全活動に取り組んでいます。

- ・ ふれあいエコ・ゼミナール
- ・ 岩手県環境保全連絡協議会
- ・ 一関地域温暖化対策地域協議会
- ・ 吸川をきれいにする会(賛助会員)

北上製紙株式会社 技術部
TEL (0191)23-3366
FAX (0191)23-6192